

視点

診療報酬と補助金の役割を 踏まえた賃金上昇等への対応

社会保障審議会で、次期診療報酬改定の基本方針が議論されているが、医療機関の厳しい経営状況からすれば、賃金・物価上昇への対応が最大の課題であろう。

令和6年度予算の大臣折衝で改定財源の使途を限定されたことから、現在のベースアップ評価料は、外来・在宅で8区分、入院で165区分と多区分で、その収入の全てをベースアップに充当すること、3か月ごとの区分の確認や賃金改善の計画書と実績報告書の定期的な提出等、補助金以上に煩雑な仕組みとなっており、その届

出は、病院こそ約9割だが、診療所は約4割にとどまっている。計画通りに改善しなかった場合、補助金のように返還させるのか、実務的な実行性にも疑問が残る。

本来、診療報酬では使途を特定せず、全国一律で多くの医療機関に影響を与え誘導できるのに対し、補助金は病床機能転換や統廃合等使途を特定し、地域の実情に応じた取り組みを行う医療機関を重点的に支援できるといった特性がある。

中長期で賃金上昇が続くとすれば、例えば、診療報酬では初再診療、入院基本料等の基本診療料に

まとめて引き上げて、足らず前が大きい例外的な場合だけ補助金で補填する等、本来の役割を踏まえた対応に戻すべきではないか。

医療機関によっては、賃金が高く十分人が確保できており、むしろ建替のほうの問題である等、様々な事情を抱える中、優先度をつけ、資源配分するのが経営だろう。自民・維新の合意では診療報酬体系の抜本的見直しが謳われているが、まずは、煩雑な補助金的手法から脱却し、医療機関に経営権を奪還する正常化を目指すこととしてはどうか。

社会保険旬報

目次

No.2981 2025年11月11日

視点

診療報酬と補助金の役割を
踏まえた賃金上昇等への対応 3

座標

四病協等が病院の改定率10%超を要望
医療機関の6年度賃上げ3.07%達成 4
日医が2024年度の病院の経営調査を発表
6病院団体が控除対象外消費税を調査 5

レコーダ

医療経済フォーラム・ジャパン主催
第23回公開シンポジウム（上）
医療保険の持続可能性
遠藤久夫 6

ジュネーヴからの便り②⑦

最速記録
中谷祐貴子 ... 13

論評

医薬品のカテゴリーに応じた薬価制度の提案
山瀬博之 14

潮流

上野厚労相が就任に伴い共同取材 20
中医協総会で身体的拘束の定義を検討 ... 22
地域医療構想等検討会で新構想議論 24
医療保険部会が出産の給付体系を議論 .. 26
高額療養費専門委が医療費負担議論 28
健保連が令和7年度全国大会を開催 30
年金学会でワーク・ロンガー戦略を提唱 ... 32
中医協が長期収載品・BSの価格を議論 ... 34
令和7年版の自殺対策白書を公表 35

資料

慢性期入院医療・身体的拘束
移植医療、賃金増率 39

雇用・労働の動き 41

編集室・ワードカプセル 42